



当社は、運転員の技術力の維持・向上を目的として、原子燃料サイクル施設（再処理工場）等で使用される遠隔操作装置（MSM：マスター・スレーブ・マニピュレーター※）の操作技術を競い合う「日仏MSM操作技術競技大会」に出場しました。

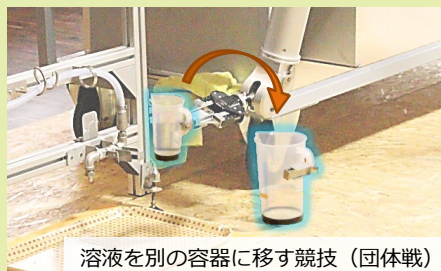
この大会は2023年度より開催され、第1回・第2回大会は当社のグループ会社ジェイテックが主催し、六ヶ所村で行われていましたが、今回はオラノ社が主催し、初めてフランスで開催されました。本大会には、日頃の業務でマニピュレーターを使用している当社やジェイテックを含む日仏の7社14チームが参加しました。

※マスター・スレーブ・マニピュレーター＝人間の腕の動きを再現するロボットアームで、操作する機構を「マスター」、実際に作業を行う側を「スレーブ」と呼ぶ。放射性物質の遠隔操作のほか産業用ロボットの分野等でも使用される。

大会の様子



エキシビジョンでは書道を披露！



溶液を別の容器に移す競技（団体戦）



ジェンガの組み立て競技（個人戦）



団体戦でマニピュレーターを操作する当社社員

各チーム一丸となり、白熱した戦いが繰り広げられました。団体戦では入賞は逃したものの、個人戦ではジェイテックの沼端拳介さんが2位に、当社運転部の小渡翔生さんが3位に入賞しました。

受賞者インタビュー



再処理事業部 運転部
こわたり かける
小渡 翔生

目標は優勝でしたが、他の選手のレベルがとても高く、苦戦しながらも何とか準決勝まで進み3位に入賞できました。

それぞれの操作方法や考え方を習得することができ、楽しく有意義なものになりました。この大会を通して得た技術を、日頃の作業に生かしていきたいです。

今後もグループ企業や協力会社、本大会への参加団体の皆さまと切磋琢磨し合いながら技術力の維持・向上に取り組んでまいります。